ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

下都賀地区生涯学習研究会機関紙　第52号

ネットワーク

令和元年９月
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
TEL　0282-23-3422
FAX　0282-23-3502
E-mail
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

本年度最初にお届けする「ネットワーク５２号」は、小林会長のごあいさつ、壬生町生涯学習課の学校・家庭・地域の連携協力に関する取組の事例、小山市立絹義務教育学校の平塚先生へとつながりました「となりの社教主事」、そして、栃木市立東陽中学校でご活躍中の“地域コーディネーターさん”について掲載しました。また、今年の夏に宇都宮大学にて、社会教育主事講習を修了しました「ニューフェイス」の２０名の皆さんを、特別紙面でご紹介しています。

今年度も新たな仲間をお迎えし、さらに下都賀地区の生涯学習を振興し、社会教育を推進していきたいと考えております。これからも本会にお力添えをくださいますようにお願いいたします。

新しい時代に

下都賀地区生涯学習研究会　会長
栃木市立栃木西中学校　校長　　小林　勇夫

「平成31(2019)年度下都賀地区学校教育の重点」において、ふれあい学習が重点項目の１番目となり、重要視されたのかなと思います。そこには「子どもの『生きる』力を育むためには、学校だけではなく、家庭、地域社会や信頼できる大人との関わり等、良好でしなやかな人間関係の中で様々な経験を重ねて行くことが必要である。また、子どもの育ちを軸として、家庭と地域の教育力の向上を図ることも不可欠である」と記されています。社会教育主事や有資格者の皆さんにとっては、当たり前に分かっていることや実践していることですが、全ての教職員や行政職員がこのことを十分に理解することを期待します。

さて、時代は「令和」です。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているとのことです。この新しい時代に、幅広い年代の人々との交流や豊かな体験等により、生涯学習がさらに充実・発展するよう頑張りましょう。

シリーズ　事例から学ぶ 55

「壬生町学校地域支援ボランティア推進事業研究会」

壬生町教育委員会事務局生涯学習課　課長補佐兼社会教育主事　高橋　唯拓

壬生町では、学校地域支援ボランティア推進事業研究会を年２回実施しています。

研究会では、本事業の目的である『学校・地域住民や保護者・行政・関係機関や団体等がパートナーとして互いに連携・協働し、未来を創り出す心豊かな子どもをはぐくむとともに、子どもたちが多様な人との関わりや、豊かな体験活動を重ねる中で、大人もともに学び合い、育ち合う教育体制の構築を推進する』ための具体的な方策を協議したり、研究員が取り組み状況や成果について相互に情報交換を行い、よりよい推進体制の構築に向けて学び合うとともに推進上の課題について検証したりと取り組んでいます。今年度から全小中学校区に委嘱され、ご活躍されている地域学校協働活動推進員の皆様も研究員です。

第１回研究会では、下都賀教育事務所ふれあい学習課副主幹の鈴木正俊先生から「地域と学校でつくる学びの未来　地域学校協働活動」を演題にご講話いただいたり、本年度の研究テーマについて協議を行ったりと研究員にとって貴重な学習機会になりました。

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

リレー　となりの社教主事 46

「ふるさとを思う心」　小山市立絹義務教育学校　教諭　平塚　徹也

「筬(おさ)の音に　先人の知恵織り込んで　縦横に糸綾なせば」

これは、校歌３番の歌詞の一部である。本校では、全学年で「ふるさと学習」に取り組んでいる。１・２年生の蚕のお迎え式から始まり、３～５年生で本場結城紬のさまざまな工程を体験し、６年生で地機織りをする。７年生は着心地体験、８年生は繭クラフト、９年生は桑の葉まんじゅう作りを行う。

ふるさと学習にあたり、たくさんの学習支援ボランティアの方々を「地域の先生」として招き、指導をいただいている。土日にも関わらず蚕の様子を見に足を運んでくださり、私たち教員にも熱心に指導をしてくださる地域の先生方によって子どもたちの深い学びが支えられている。

絹地区では蚕を「おかいこさん」と呼ぶ。絹織物の歴史は深く、奈良時代から地域の人々の生活を支える大切なものだったことから、親しみと敬意を込めてそう呼ばれたそうである。この学習を通して、地域の歴史と伝統、そこに込められた人々の願いを学び、「絹地区って素敵なんだよ」と生き生きと発信できる子どもたちを、地域の方々と一緒に育てていきたい。

令和元年度
総会・懇親会報告

5月 24 日（金）、栃木市サンプラザにおきまして、令和元年度下都賀地区生涯学習研究会総会並びに第１回懇親会が開催されました。

平日の夕刻からの開催にもかかわらず、大変多くの皆様に御参加いただきました。懇親会では、近況や日頃の取組について談笑する様子が見られ、会員同士の交流を深めるよい機会となりました。

学校をおうえんしたーい 16

「東陽地区にこの人あり！」　栃木市立東陽中学校　教諭　横塚　一弘

東陽中学校の学区はかなり広いため地域コーディネーターの方が、国府地区と大宮地区とでお二人いらっしゃいます。今回は、このお二方が学校にとって、とても頼りになり素晴らしい活動をされていらっしゃるので、その一端をご紹介します。

国府地区の佐藤博之さんは、コーディネーターとしての活動はもちろん、直接指導にも携わり、学校行事を盛り上げてくださっています。２年生の立志記念スキー学習では、スキー１級の特技を生かして、生徒と一緒に滑走しながら動画で記録をしてくださりました。また平成 23 年より、薬剤師という立場で「とちぎ未来アシストネット」事業の一環として中学３年生を対象に「薬物乱用防止教室」の講師として授業をしてくださっています。この試みは、本学区のみならず市内外各学校からも依頼があり、現在では 16 校の小中学校に出向いて授業されており、さらに普及していこうと意欲にあふれていらっしゃいます。

大宮地区の荻島哲さんは、ドラえもんのような方です。“こんなこといいなできたらいいな”と考えたことをお願いすると、無理難題でも短期間で願い事を叶えてくださいます。校庭の樹木の剪定、給食時に使うテーブルクロス縫いなど、あっという間に学校の生活環境を整えてくださいます。荻島さんのすごさは、多方面にわたり多くの方とのつながりがあり、どのようなことでもすぐにその方面の一流の方につないで、実施していただけるというところにあります。最近では３年生の俳句指導に、栃木市俳句協会の方を紹介してくださいました。

このお二方のご協力のたまもので、これからも東陽中学校で、よりよい教育活動が展開できることは間違いありません。

案内

生涯学習研究会第１回研修会

「下都賀地区ふれあい学習研修会」
～社会教育有資格者ステップアップ研修Ⅰ～
◆日　時　　令和元年 11 月 15 日（金）
　　13:30～16:30
◆会　場　　國學院大學栃木学園
　　教育センター（栃木市）

【第２回懇親会】
◆時　間　　18:00～20:00
◆会　場　　サンプラザ（栃木市）
◆会　費　　5,000 円
◆申込み　　別通知にて

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

下都賀地区生涯学習研究会機関紙 第52号
ネットワーク 特集紙面

ニュー フェイス

New Face

社会教育主事講習を修了した２０名の皆さんのメッセージをどうぞ。

「社会教育主事講習を終えて」
壬生町立壬生北小　福田　崇

新聞を読む際も、広報誌やポスターを見る際も、「これは」「これも」と、今までと異なる物の見方をする自分がいます。社会教育の入り口に立たせて頂いた講師の先生方や共に学んだ仲間、送り出していただいた職場の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。学んだ「つながり」を意識し、今後の教育活動に携わりたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
壬生町立南犬飼中　大塚　智史

生徒会活動や総合的な学習の時間、地域のお祭りやボランティアなど、身近なところに「社会教育」の場があることを知り、これまでより「社会教育」を意識して生活するようになった３週間でした。この講習に終わらず、これからも自分自身が学び続けていくことで、学校と地域の活性化に貢献していきたいと思います。

「『つながる』ことの大切さを学んだ21日間」
野木町立佐川野小　福島　一恵

「社会教育って何？」から始まった講習。講義を通して、社会教育は今まで自分がしてきた教育から遠く離れたものではないことや、地域と連携して地域の担い手となる子どもたちを育てていく大切さを学びました。熱い講義をしてくださった先生方、共に学び合った仲間たちと繋がることができたのが、大きな成果だと思います。これからも「つながり」を大切にして、今回の学びを教育現場で活かしたいです。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立小山第二小　佐藤　美香

教員になってから、こんなにも夢中で勉強したことはありませんでした。講習の中で、多様な人が暮らす「地域」というものや、地域の中での学校の在り方について考え、これまでとは違った見方をしている自分に気づきました。貴重な経験をさせていただいた感謝を胸に、これから自分ができることを、一歩ずつやっていこうと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立小山城南小　侘美　尚之

今まで学校という側面でしか見ていなかった様々な問題を地域の問題としても捉えることで、学校と地域の「つながり」の重要性とそこで生じる「接着剤」としての役割の必要性を改めて感じました。そのような「つながり」を大切にしていける教員となるよう、本講習で学んだことを今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

「社会教育主事講習を通して」
小山市立間々田小　安良岡　委久子

社会教育は、人と人とをつなぎ、主体的にものごとを捉えて行動できる「担い手」を育成することであり、地域づくりそのものであると学びました。学校を核とした地域づくりや社会の抱える問題等を真剣に話し合ったことは、自分の視野を広げるよい機会となりました。少しでも今後の教育活動に行かせるよう努力したいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立間々田東小　舘野　裕美子

講習を通して、「つながり」の大切さを学ぶことができました。人と人をつなぎ、学校と地域をつなぐ社会教育の奥深さを知り、視野が広がったように感じます。「人は幸せになるために学ぶ」という言葉が心に残りました。子どもたちの未来のために、社会教育という視点を常に忘れず、学校教育に生かしていきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立萱橋小　篠原　元樹

この講習は私にとって新しい発見の連続でした。特に、今まで学校教育のことしか考えていなかったのが、社会教育という言葉を知り、自分の視野の広がりを実感しています。運動会や学校祭など行事についても、そのような視点をもちながら活動をすることができるようになりました。社会教育の大切さと重要さを忘れずに、日々の業務に専念していきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立小山城南中　飯塚　翔

今回の講習を受けるまでは「社会教育」という言葉自体ほとんど耳にしたことがありませんでした。しかし、２１日間の講習を通して「社会教育」がどのようなもので、これからさらに必要とされていく意味を深く知ることができました。今後は学校から地域づくりに貢献できる子どもを育成していくという視点ももって日々の教育活動にあたっていきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立大谷中　小池　祐市

社会教育主事講習を受講し、物事を見たり考えたりする幅が広がったように感じています。また、社会教育を学んだことで、学校の中で自分が行なっている教育活動を俯瞰できるようになりました。私は教員なので、今は目の前の生徒の成長のために、今回学んだことも含めて、自分の力を最大限発揮できるよう精進して参ります。

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

「社会教育主事講習を終えて」
栃木市立国府北小　小林　孝裕

社会教育について学んだ21日間。最初は社会教育という概念が理解できず、戸惑いばかりでした。しかし、いつしか周囲の先生方に支えられ、研修の場が居心地の良い空間になっていきました。今になって考えると、この体験こそが社会教育にとって重要である「つながりづくり」だったのだと実感しています。この経験を学校教育の現場でも生かしていきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
栃木市立大平西小　相良　夏美

講習は驚きと発見の連続で、充実した学びの日々を過ごすことができました。研修を終えても、講師の先生方の「社会教育は、全ての人々が幸せになる学びである。」という言葉が心に刻まれています。社会教育を学んだ一人として、学校教育に携わる一人として、地域・保護者・子どもたちのために、これからできることを取り組んでいきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
栃木市立藤岡第一中　長島　裕志

２１日間の講習の中で、最も心に残っている言葉は「つながり」です。そして、地域のつながりを生み出していくために、学校が大きな役割を担っていることも学びました。これから、学校と地域が協働することの必要性を日頃から心に置き、人と人との「つながり」を大切にし、教育活動に取り組んでいきたいと思います。

「接着剤への決意」
下野市立細谷小　平石　秀邦

これまで子ども中心に仕事をしてきました。今回の講習を経て、これまでになかった、地域やそこに住む大人について考えるようになりました。「社会教育は人が幸せになるためにある。」そのために、学校でも地域でも、皆をつなぐ接着剤になっていけるよう、頑張りたいと思います。

「社会教育主事講習を振り返って」
下野市立石橋中　鯨　昭文

２１日間の本講習では、毎日が「学び」でした。学校と地域、そして家庭がつながることが大切で、最後には社会全体も幸せになっていくことを知りました。教員としての視点だけでなく、いろいろな視点で物事を考えていく重要性を感じました。最後になりますが，本講習を受講するにあたり、支えてくださった多くの皆様に感謝したいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
県立栃木工業高校　山岸　峻也

２１日間の講習は地域や学校だけでなく、今の自分を見つめ直すとても良い機会になりました。この講習に参加させていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。高校だからこそできる地域との関わり方を考え、この講習で学んだことを日頃の教育活動に生かしていきたいと思っています。

「社会教育主事講習を終えて」
県立栃木特別支援学校　梁木　直人

本講習を受講して「つながり」という言葉がとても印象に残っています。私自身、多くの先生や行政職員の方々とつながり、たくさんの発見や学びを得ることができました。地域の良さを見つめ、学校と地域が連携し、子ども達の学びにつなげていけるよう頑張りたいと思います。

「社会教育主事講習を受講して」
県立国分寺特別支援学校　高橋　薫

日頃の職務から離れ、社会教育について一日中考える２１日間でした。今回の講習で「つながり」「地域」「担い手作り」などのキーワードをシャワーのように浴びたおかげで広報誌やポスターなどが「社会教育的視点」で見えるようになりました。学ぶことができた多くのことや新しくできたつながりを今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

「社会教育主事講習を終えて」
栃木市生涯学習課　斉藤　千明

今回の講習の受講は、社会教育とは何かを改めて考えるとてもよい機会となりました。社会教育は奥が深くまだまだ理解しきれていない点も多くあると思いますが、地域の方とのつながりを大切にしつつ、これから実践を通してさらに多くのことを学び、今回学んだことを業務に活かしていけるよう頑張りたいと思います。

「つながりを大切に、主体的に・・・」
栃木市生涯学習課　福田　博紀

講習を受けながら幼少の頃を思い返し、自分たちは地域のたくさんの大人たちによって育てられたと改めて気づきました。地域が賑やかになり、その中で次代を担う子供たちが育っていけるよう、社会教育的な広い視野をもって、「つながり」を大切にし、行政の人間として、また、一市民としても行動していきたいと思います。

編集後記

先日、牛丼チェーン店で外食をすると、注文からレジの会計までタッチパネルになっていた。味は変わらず一安心であったが、店を出るときに「ごちそうさま」と言うことを楽しみにしている私としては、レジにお店の人がいないのは寂しかった。人対機械になっていくこれからの世の中、生涯学習・社会教育は人対人でなければならないことを牛丼店での出来事をとおして再確認したある夏の夜であった。(Y)